

令和7年度

東明小だより

令和7年11月25日
第9号



第2回学校運営協議会を行いました



校長 中嶋 聡子

11月12日に、本年度2回目となる学校運営協議会を行い、以下の2点について、話し合いをしました。

- ① 地域として東明小学校の子どもたちに、どんな子どもに育ってほしいか。(地域の願い)
- ② 学校が課題と考えていることについて
＜安全部＞・支援隊の皆様との連携・子ども110番の家の見直し・見守りオアシスの拡大
＜学習部＞・学習ボランティアについて・ボランティア募集の協力をお願い
＜環境部＞・環境整備作業の振り返り・資源回収の振り返り

① 「地域として東明小学校の子どもたちにどんな子どもに育ってほしいか。」という話し合いでは、

- ・元気よくあいさつできる子
- ・あいさつに加えて「ありがとう。」「ごめんね。」が素直に言える子
- ・人にやさしい。人の気持ちが分かる子
- ・人にやさしく思いやりのある子
- ・自分の思いが表現できる子
- ・中学・高校へ行っても、自分の考えがはっきり言える子
- ・目標に向かって失敗しても頑張れる子
- ・地域のよさを知ってほしい。郷土愛をもつ子
- ・進学したり、社会に出たりしても適応して生きていけるようになってほしい。



▲色付く校庭の木々

という意見が出ました。

② 「学校が課題として考えていること」に対しては、

・子どもたちは、支援隊（登下校の見守りボランティア）の皆さんの名前がわからないので、「サポーターさんおはようございます。」とあいさつしている。支援隊として協力していただいている方を確認し、名札を付けていただくようにしたらどうか。そうすれば、子どもが支援隊の方の名前を覚えてあいさつすることができ、関りも増えると思う。

・110番の家は、再度確認するとともに、『見守りオアシス（子どもたちを熱中症から守る休憩場所の提供）』としてお願いできそうな所に相談してみてもどうか。

・子どもたちは、110番の家の利用の仕方が分かっていない子もいる。「ただいま」といって110番の家の玄関に入ってよい、困ったことがあったら話をして警察に連絡していただくなど、具体的な話をしてはどうか。

・学習ボランティアを募集する際に、来年度から地区センターの広報に載せてはどうか。

・今年も運動場の環境整備作業をお願いしたが、草抜きをやっても草が残ってしまった。安全性の高い除草剤の利用を考えていき、草抜きの負担を減らしてはどうか。手で草を抜く日と刈り払い機を使う日を分けてはどうか。

などのご意見をいただきました。「どんな子どもに育ってほしいか。」については、保護者の皆様にもご意見を伺い、地域・保護者・学校の願いを整理し、同じ願いをもって子どもたちを育てていきたいと考えています。学校の課題については、いただいたご意見をもとに改善を図ってまいります。

学習ボランティアにつきましては、次号で詳しくお伝えする予定です。